

LED光源ユニット 防湿・防雨形(オイルミスト対応)

型式：WGE203DE-N14A・WGE203NE-N14A・WGE203WE-N14A
WGE203WWE-N14A・WGE203LE-N14A

日本国内用

●保護等級(IPコード)：IP45

●このたびは日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

●器具の取り付け工事には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず有資格者に依頼し、内線規程に従ってください。
お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。
ここに示した注意事項は、表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を次の表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



「警告や注意を促す」
内容のものです。



してはいけない「禁止」
内容のものです。



実行していただく「指示」
内容のものです。

工事店様へ この取扱説明書は、工事終了後、必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

- 取り付け工事は「LED光源ユニットの取り付けかた」に従い、確実に行う
※不備があると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- LED光源ユニットを単独で使用しない ※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 適合する日立製器具本体以外と組み合わせて使用しない ※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 人が触れるおそれがある場所に取り付けて使用しない ※感電・火傷によるけがの原因となります。
- 器具本体で指定された取り付け姿勢(天井・壁直付けなど)以外で取り付けはしない
※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧 $\pm 6\%$)以外の電圧で使用しない ※火災・感電の原因となります。
- 器具が破損した状態で使用しない ※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具を分解、改造しない ※火災・感電・落下によるけがの原因となります。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

- 本器具は軒下用の防湿・防雨形(オイルミスト対応)照明器具です。直射日光の当たる場所・直接雨が降りかかる場所・振動のある場所・腐食性ガスの発生する場所・浴場など連続的に湿度の高い場所・蒸気などが直接当たる場所・風が直接当たる場所では使用しない ※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
 - 1)防湿・防雨環境で使用する場合は、軒下など雨線内の屋側で使用できます。その他の屋外では使用しない
※絶縁不良・感電の原因となります。
 - 2)油煙環境で使用する場合は、JIS K 2241に規定された切削油でミスト濃度 $3\text{mg}/\text{m}^3$ 以下の環境で使用できます。
その他の切削油を使用の場合は、別途確認が必要です。
※油煙の付着による破損・火災・感電の原因となります。
- 器具に物をぶついたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない
※器具の破損によるけがの原因となります。
- 周囲温度は $-35\sim 35^\circ\text{C}$ 以外では使用しない ※火災・不点灯・短寿命の原因となります。
- 器具を密集させて取り付けない ※過熱し、火災の原因となります。
- LED光源ユニットのアース線(口出線：緑/黄)は、建物の鉄骨の接地極(内線規程1350-8)と接続しD種接地工事を行う配電方式が単相3線式配線の場合、中性線または電圧線と接続しない ※火災の原因となります。
- 電源入力部に電源スイッチなどを設置する場合は、必ず活線側に電源スイッチなどを設置(両相とも活線の場合は両相に設置)する ※早期故障・電源オフ時にLEDが微発光する原因となります。
- 電源線接続部を防水絶縁処理せずに使用しない ※絶縁性能が損なわれ、火災・感電・絶縁不良の原因となります。
- LEDカバーを強く押したり、つかんだりしない ※LEDカバー破損によるけがの原因となります。

その他のご注意

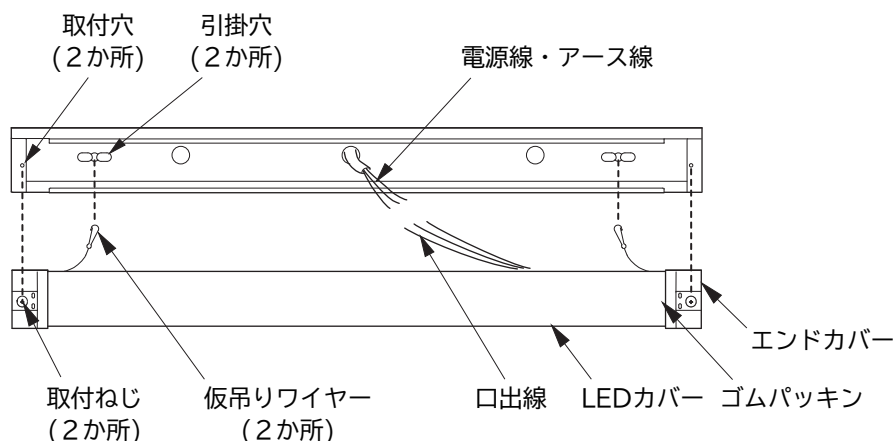
- 500Vを超える絶縁抵抗計を用いて、絶縁抵抗試験をしないでください。※故障の原因となります。
- 漏電ブレーカーに本器具を多数接続する場合は、漏電ブレーカーの定格電流を超えない接続台数としてください。
なお、不要動作を防止するため、感度電流 30mA の高周波対応形漏電ブレーカーで最大60台としてください。

各部の名前

※取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です

【器具本体】(別売)
※形状は一例です。

【LED光源ユニット】



LED光源ユニットの取り付けかた

1 取り付け前に確認する

- 器具本体がLED光源ユニットを足した器具質量に十分耐える天井に取り付いていることを確認する (LED光源ユニット質量: 1.4kg)
※強度が不足していると、落下によるけがの原因となります。
- 取付ボルトの出代が本体15~25mmになっていることを確認する
※取付ボルトの出代が25mmを超えると、LED光源ユニットが取り付けられなくなります。
- LED光源ユニットの入力電流を確認し、漏電ブレーカーの定格容量を超えていないことを確認する
※定格容量を超えると、火災・感電の原因となります。

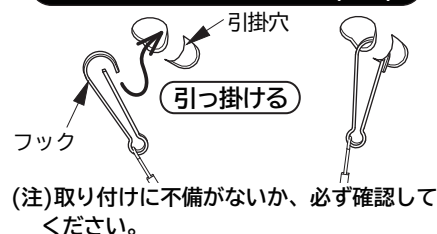
2 仮吊りワイヤー(2か所)を取り付ける(図1)

- 仮吊りワイヤーのフックを、器具本体の引掛穴に確実に引っ掛ける
※取り付けに不備があると、落下によるけがの原因となります。

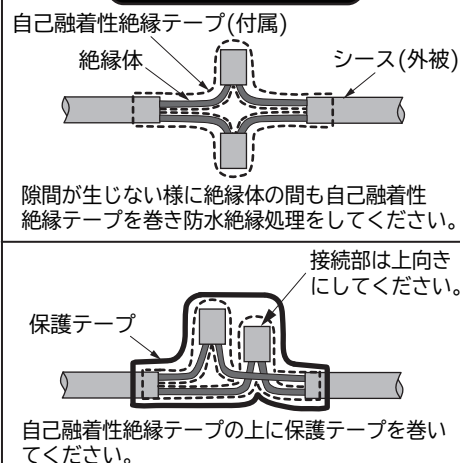
3 電源線・アース線を接続する(図2)

- LED光源ユニットから出ている口出線と電源線・アース線の接続は電気設備の技術基準省令7条に従い圧着端子・スリーブなどを用いて確実に行う
接続部は自己融着性絶縁テープなどで防水性のある絶縁被覆処理を確実に施し、保護テープを巻く
※接続に不備があると、火災・感電の原因となります。
- アース工事はD種接地工事を行う
口出線(3線)のうち緑/黄色線がアース線です。
※100V入力でのご使用の場合でもアース工事は確実に行ってください。
※アース工事が不完全な場合、感電・火災の原因となります。
- 壁縦付で使用する場合は、LED光源ユニットから出ている口出線の向きを下向きにして口出線と電源線・アース線を接続する(図3)
※壁縦付け適用器具本体の型式: WGP4A1、WGP4A1S
※取り付けに不備があると、感電・故障の原因となります。
- 余分な電源線・アース線は電源穴から押し戻す
- 電源線・アース線の出代は25mm以下に調整する(図4)
※25mmを超えるとLED光源ユニットに接し、LEDカバーの破損の原因となります。

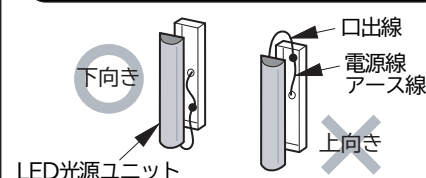
仮吊りワイヤーの取り付け(図1)



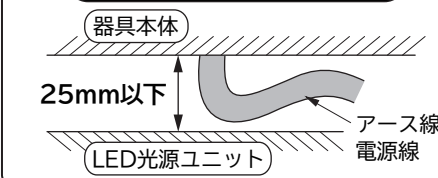
防水絶縁処理(図2)



壁縦付け時の口出線方向 (図3)



電源線・アース線処理(図4)



4 LED光源ユニットを押し上げ、器具本体に取り付ける(図5)

- LEDカバーを強く押したり、つかんだりしない
※LEDカバー破損による、けがの原因となります。
- LED光源ユニットを器具本体に押し上げる
※口出線・仮吊りワイヤーを挟まないよう処理してください。
- 取付ねじで、器具本体の取付穴に確実に取り付ける
- プラスドライバーなどの工具を使用する場合は(締付トルク：1.0N・m)で、確実に本体に取り付ける
- 取付ねじの表面はステンコート処理を施しています。電動工具で締付けると「焼付き(かじり)」を起こす場合がありますのでご注意ください。

【電動工具使用時の注意点】

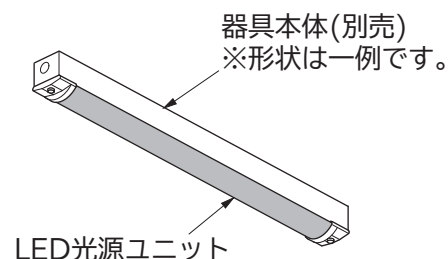
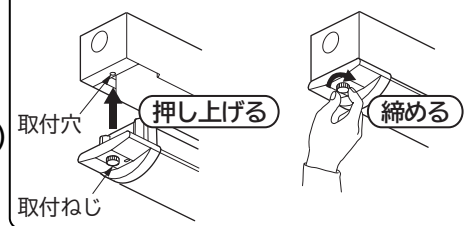
回転数：380回転/分以下(低速)

締付トルク：1.0N・m

※注 取付ねじは垂直に締め込むこと

取り付けが不完全な場合、LED光源ユニット落下の原因となります。

LED光源ユニットの取り付け(図5)



【完成状態】

5 取り付け完了後、絶縁抵抗を確認する。

- 絶縁抵抗試験は500V以下の絶縁抵抗計を用いる
※500Vを超える絶縁抵抗計を用いると、故障の原因となります。

6 電源を入れ、点灯確認する

仕様

- この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

基本特性(周囲温度25℃)

型式	全光束(lm)	光源色	相関色温度(K)	平均演色評価数(Ra)
WGE203DE-N14A	3,040 ※1	昼光色	6,500 ※2	85 ※2
WGE203NE-N14A	3,200 ※1	昼白色	5,000 ※2	
WGE203WE-N14A	3,170 ※1	白 色	4,000 ※2	
WGE203WWE-N14A	3,100 ※1	温白色	3,500 ※2	
WGE203LE-N14A	3,000 ※1	電球色	3,000 ※2	

定格入力電圧(V)	100	200	242
入力電流(A)	0.218	0.112	0.094
定格消費電力(W)	21.3		

※1 LED光源ユニット単体の値です。組み合わせる器具本体の形状により変わります。

※2 保証値ではありません。

お客様へ この取扱説明書は必ず保存してください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

- LED光源ユニット単独での使用はできません。日立製器具本体と組み合わせて使用する
※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具を分解、改造しない ※火災・感電・落下によるけがの原因となります。
- 器具の隙間に金属類を差し込まない ※火災・感電の原因となります。
- 器具を布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりして使用しない ※火災の原因となります。
- 煙が出たり異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切り、器具の使用をやめる ※火災・感電の原因となります。
- LED光源ユニットを取り外す場合は、必ず電源を切る ※感電の原因となります。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

- 器具の近くで温度の高くなるもの(ストーブ・ガスレンジなど)を使用したり、近くに燃えやすいものを置かない
※火災の原因となります。
- 器具に物をぶつけたり、荷重をかけたり、無理な力を加えたり、傷を付けたり、落としたりしない
※器具の破損によるけがの原因となります。
- LED光源ユニットを直視しない ※目を痛めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

ご使用上の注意

- 油煙環境で使用する場合は、基油(ベースオイル)に鉱物油を使用している切削油剤でミスト濃度 $3\text{mg}/\text{m}^3$ 以下の油煙環境で使用してください。その他の基油に鉱物油を使用していない切削油剤(シンセティック油・エステル系合成油など)もしくは成分にアルコール類、エステル類が含まれている切削油剤の環境では別途確認が必要です。
- 防水を目的に使用しているゴムパッキンは使用環境によって劣化が早まり、防水性能が低下する場合がありますので定期的な点検をしてください。
- 電波の弱い場所(山間・鉄筋建物など)では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。
- 器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビなどを使用するのはお避けください。リモコンを操作しても作動しない場合があります。
- 器具の近くで同時通訳機などの誘導無線やワイヤレスマイクの使用はお避けください。雑音が入り正常に作動しない場合があります。
- LED素子は製造上、発光色・明るさにバラツキがあります。同一型式のLED光源ユニットでもLED素子のバラツキによる発光色や明るさにムラが生じる場合があります。
- 電源電圧変動などの影響により、瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。
- 器具周囲に硫黄成分が存在する場所(温泉地など)での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生する場合があります。
- 壁面や床面などへの照射距離が近い時や照射面によって光ムラが気になる場合があります。
- 点灯直後および消灯直後にさしきみ音が聞こえる場合がありますが、プラスチック製LEDカバーの伸縮により起こる摩擦音で製品の異常ではありません。

お手入れ (必ず電源を切ってから行ってください)

- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃・点検をしてください。
3年に1回は電気工事店などの専門家による点検を実施し、不具合がありましたら交換してください。
- 照明器具には耐用年限があります。LED光源ユニットの多くは耐用年限が来ても点灯し続けますが、設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行していますので点検・交換をしてください。
(使用条件は周囲温度 30°C 、1日10時間点灯です)



必ず守る

- LEDカバーがほこりなどで汚れますと、明るさが低下します。汚れが目立ちはじめましたら、きれいな布を水または薄めた中性洗剤に浸してよく絞ってから拭き取り、さらに乾いた布で拭いて仕上げてください。



禁止

- みがき粉・ベンジンなどの揮発性のもの・アルカリ系洗剤・化学ぞうきんで拭いたり殺虫剤をかけないでください。また器具の水および洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。
※割れ・傷・変色・サビの原因となります。
- 点灯中や消灯直後は、器具が高温になっているので触れない ※やけどの原因となります。

保証とアフターサービス

- 器具本体の保証期間は、商品お買い上げ日(お引き渡し日)より1年間です。
- 点灯装置およびLEDモジュール・LEDランプの保証期間は3年間です。保証期間以降2年間は無償提供いたします。
※保証期間内は無償修理または交換いたします。無償提供の場合は、交換作業費はお客様のご負担となります。
- 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
- ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または照明サービスセンターに、器具の型式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。

照明サービスセンター：電話 0120 - 335 - 762 受付時間：土日祝日、年末年始を除く9:00 ~ 16:45